

ごみの減量化
食品ロス実態調査を実施します



ターゲット 12.3

令和2年2月21日

郡山市生活環境部

3R推進課

担当：安藤 憲世

TEL：924-2181

SDGs ターゲット 12.3 「世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす」

環境省からの支援を受け、本市における家庭系食品廃棄物のうち、食品ロスの実態を把握するための調査を実施します。

この調査は、家庭から排出されたごみ袋を開袋し、その中の食品廃棄物から厨芥類を分類し、厨芥類の中に含まれる食品ロスの組成（種類や量）を調査します。

本市では、調査結果を、今後の食品ロス削減に向けた施策の検討に活用します。

- 1 日程 2月27日(木) 午前10時から午後1時まで（予定）
- 2 場所 富久山クリーンセンター内プラットホーム
(富久山町福原字北畑1-2)

<食品ロス>

手つかずの食品や食べ残しなど、本来食べられるにも関わらず、捨てられてしまう食べ物のことです。日本では平成28年度に、約643万トンの食品ロスが発生したと推計されています。

<厨芥類>

厨房(台所)から出る野菜くずや食べ物の残りなどのごみ類のことです。